



# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり3本

5月17日号 (312号)

編集／販売総本部ブランドプロモーショングループ

## 関の刃物職人・横山浩充さん 伝統産業のあり方を模索

17日(日) = 1、3面



迫る

横山さんの生き様から伝統産業のあり方を考えます。

独ゾーリンゲン、英シェフィールドと並ぶ、世界3大刃物産地の一つ、岐阜県関市で「業界の異端児」として新たな刃物職人の形を模索する横山浩充さん(51) Ⅱ写真Ⅱの人生を追いしました。関は地域一体の分業体制を構築したことで飛躍しましたが、一方で「下請け」へのしわ寄せという弊害も生みました。固定化したピラミッド型の産業構造から抜け出した先に見えるものは。



## ムスリムのこどもの教育

19日(火) = オピニオン面

学校は、公立学校の場合がある一方、ムスリムのこども向けの学校もあります。そこでは、日本での暮らしを考えて、学びやすい教材などが工夫されているケースもあるそうです。どのような教育がなされる



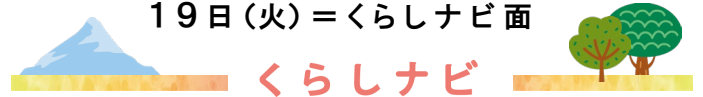
日本でもムスリム(イスラム教徒)が社会で身近な存在となりつつあります。そうしたこともたちが通う

ているのでしょうか。「日本で暮らすムスリムの子どもたちの教育」(明石書店、服部美奈監修)の編著者の一人で、就実大学(岡山市)の講師、内田直義さん Ⅱ写真Ⅱに話を聞きました。



## 山の亡霊 ユキヒョウが伝えること

19日(火) = くらしナビ面



環境

白銀の厚い毛皮に黒い斑点、たくましい顔つきに鋭い眼光をたたえたユキヒョウは、中央アジアの高山帯に生息し、インドや中国、ロシアなど12カ国にまたがって分布する大型のネコ科動物です。専門家でもめったに野生の姿にお目にかかれないほど希少な存在で、「山の亡霊」との異名も。しかし、急速に生息数を減らし、国際(NC)のレッドリストで絶滅危惧種に指定されています。

高山帯の生態系の頂点に立つユキヒョウを絶滅から救うにはどうすればいいか。インドのある地方での保全活動から見えてきた個体数回復のカギは「人間の生計との両立」でした。

ユキヒョウ naturepl.com Andy Rouse WWF提供

